

プログラム名 (40字以内)	DO-IT Japan (Diversity, Opportunities, Internetworking and Technology Japan)2026・夏季プログラムへの参加		
団体名/所属	東京大学先端科学技術研究センター/DO-IT Japan		
活動区分	研究室体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	10人程度	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	オンラインを活用しつつ現地活動を行う		
参加者に求めるもの	①DO-IT Japanの活動に関心があること②夏季プログラムに参加が可能であること(2026年8月2日～8月6日)③説明会への参加が可能であること(2025年5月、7月に各1回ずつ実施予定)※5月と7月の説明会はそれぞれ内容が異なります。5月の説明会以降に参加申込をされた方には、5月の説明会の内容についてDO-IT Japan事務局より個別にご連絡いたします。		
活動期間	夏季プログラム:2026/8/2(日)～8/6(木) (5日間)、説明会:2026年5月、7月に各1回ずつ	主な活動予定場所	東京大学先端科学技術研究センター
プログラム実施の目的	夏季プログラムで開催される以下のプログラムのどちらかへの参加を通して、障害や病気により困難のある児童生徒・学生との交流をしていただきます。1)スカラープログラム参加(2026年8月2日～6日の5日間)・大学生チューターとして、障害や病気のある生徒・学生(スカラー)と共に夏季プログラムに参加し、交流・意見交換を行う。※プログラム運営のため、一部スタッフの運営補助を依頼をする可能性があります。2)特別聴講生プログラム参加(夏季プログラム期間内の1日のみの参加)・プログラム運営サポーターとして、障害や病気のある児童・生徒向けの体験プログラムに参加し、運営補助を行う。		
具体的な内容(800字程度)	<p>【夏季プログラムについて】</p> <p>毎年8月上旬に、東大先端研にて障害や病気のある若者・子どもたちを対象に夏季プログラムを開催しています。</p> <p>1スカラープログラムは、選抜された障害や病気のある生徒・学生が参加するプログラムです。選ばれた人は「スカラー」と呼ばれます。その年度に選ばれたスカラーが最初に参加するDO-IT Japanのプログラムが「夏季プログラム」です。夏季プログラムは、障害と多様性の理解、大学体験、テクノロジーの活用、自己決定とセルフアドボカシーの発揮、多様な価値観に触れる等、様々なセミナーやワークショップが行われます。</p> <p>2特別聴講生プログラムは、選抜された障害や病気のある児童・生徒へ向けた1日のプログラムです。プログラム参加者は、夏季プログラム中に1日開催される、1テクノロジーコース「テクノロジー体験」、2ダイバーシティコース「多様な価値観との出会い」のどちらかに参加します。</p> <p>●どんなプログラム内容ですか？ 活動の様子は、毎年作成している「活動報告書」をご覧ください。 URL:https://doit-japan.org/report-video/</p> <p>●DO-IT Japan(ドゥーイット・ジャパン)とは？ DO-IT Japanは、障害や病気のある若者の高等教育への進学とその後の就労への移行支援を通じたリーダー育成プロジェクトです。東大先端研が共同主催、共催・協力企業との産学連携により、2007年から活動を続けています。</p>		
【総額】参加するための費用	なし		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	なし		
【内訳】参加するための費用(交通費)	なし		
【内訳】参加するための費用(その他)	なし		
奨励金額(予定)	なし		
備考	なし		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト			
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	https://doit-japan.org/		
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する		